

ゼロカーボンに向けた市民の行動喚起事業 (ナッジ手法を用いた行動変容) の進捗について

○事業趣旨

市民のゼロカーボンへの意識、アクションプランの内容の認識について向上を図るため、アンケート調査を行い、アクションプランによる市民意識の変化などの効果、ナッジ手法を用いたアクションプランの普及啓発を実施することにより、その効果の検証を行う。

また、来年度以降も継続的に調査を実施し、市民の意識変化等に繋がっているかの追跡調査を行うため、モニター協力についても併せて依頼する。

○業務内容

- ・住民基本台帳から無作為に抽出した 1,000 名（20 代～60 代）に向けて普及啓発を行う。

アンケート調査を実施する 1,000 名の内訳

A 群：意識調査アンケート

ナッジ手法を用いたアクションプラン普及啓発物 500 名

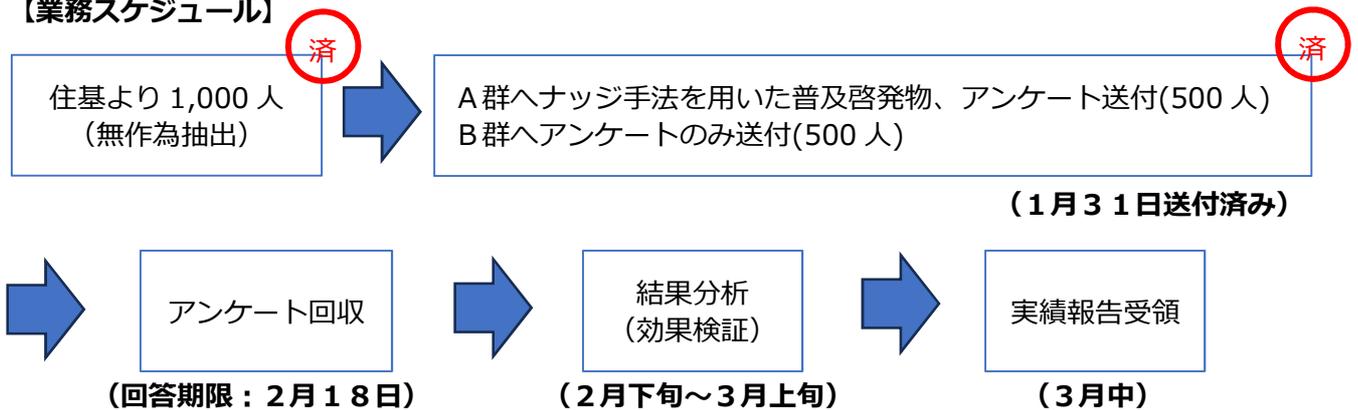
B 群：意識調査アンケートのみ 500 名

の 2 群に分けて効果検証を行い、効果の高い普及啓発方法について考察する。

※ A 群にはアンケートと普及啓発物を同封

回収期間を 1 ヶ月程度に設定し、普及啓発物の内容を見た事により意識調査アンケートの回答内容に有意差があるかを検証（アンケート回収率は 40% を想定）

【業務スケジュール】



○今後のスケジュール

- ・令和 6 年 1 月 無作為抽出した 1,000 名に向けてアンケート調査（普及啓発の効果検証のため）
- ・令和 6 年 2 月 アンケート回収 → 効果検証・報告書作成着手（委託事業者による）
- ・令和 6 年 3 月 実績報告書受領（委託事業者より提出）

○モニター調査について

・アンケート調査時に、モニター協力依頼についても同封し、来年度以降のモニター協力者を募集する。（A群から20、B群から20の計40を想定）

モニター協力者へはインセンティブ（QUOカード等）を参加時点で進呈、継続調査（四半期毎を想定）協力時、モニター期間中終了時（R7年度末予定）にもインセンティブ（同上）を進呈する条件を提示し、参加協力の動機づけを行う。

また、家庭部門のGHG算定システム事業（仮）へも参加※してもらい、意識変化が行動や削減に繋がっているかの追跡も行う。

※事業参加者には、登録、継続したデータ提供、GHG削減量などに応じたインセンティブ（例：恵庭市公式アプリ「えにわか」で使用できるポイントの「えにポ」、独自インセンティブなど）の付与について、令和6年度の市民向けGHG算定システム・事業スキーム設計の中で検討する

【モニター募集～追跡調査の流れ】

